

# 広島市植物公園 見どころ案内

**サギソウ** (ラン科)  
 茎は単立して伸び、その先に1~3輪の白い花を付けます。鷺が羽を広げたように見えるので名がつけました。当園のシンボルにもなっています。

**世界の食虫植物展**  
 栄養の少ない土地で生きていくため、虫を捕らえる進化を遂げた食虫植物の仲間を展示しています。  
 8/20(日)まで

**大温室改修のため休館中**  
 リニューアルオープンは平成29年秋ごろです。(予定)

**熱帯の花**  
 フィリピン原産のキバナヨウラク、東南アジア原産のマツリカ、ブラジル原産のヒメアリアケカズラなど、南国の鮮やかな花を多数展示しています。

**巨大ハンキングバスケット**  
 白いカラジウムを基調にして、ペンタス、オカメツタを組み合わせ、夏バージョンに仕上げました。  
 日本ハンキングバスケット協会  
 ハンキングバスケットマスター作

**ミナヅキ**  
 (アジサイ(ユキノシタ)科)  
 花序が長く、ピラミッドアジサイと言う名前が流通しています。

**レンゲショウマ** (キンポウゲ科)  
 日本固有の1属1種の植物で、ハスを逆さまにしたような可憐な花です。

**ナリウツギと夏の植物展**  
 花の少ないこの季節に咲くアジサイの仲間を展示。ほかに見ごろの夏咲きの植物を展示します。屋外展示場にて開催中。

**キバナコスモス** (キク科)  
 メキシコ原産で標高1600m以下の地域に自生しています。満開のキバナコスモスに囲まれて迷路の楽しさを体感できます。

**オミナエシ** (オミナエシ科)  
 秋の七草として知られていますが、実際の開花期は盛夏です。日当たりのいい草地に黄色の花を咲かせます。

**アメリカノウゼンカズラ** (ノウゼンカズラ科)  
 落葉蔓木本。夏~秋にかけて橙色あるいは赤色の大きな花を付けます。夏の季語にもなっています。

**アサガオのカーテン** (ヒルガオ科)  
 ツルが最上部まで到達して、ブルーの花が涼しげです。アサガオの1品種「オーシャンブルー」です。

**冬虫夏草展**  
 中国で古く「冬は虫として動き回り、やがて夏になれば草(キノコ)に変わる不思議な生き物」と思われていた、昆虫やクモなどに寄生するキノコの仲間の標本や写真を展示しています。  
 8/17(木)まで

